



HAPPY
HALLOWEEN



I Qキッズゆうき園の園児たち



CONTENTS

- 2 巻頭言
- 3 感染症対策チームのご紹介
- 4 栄養管理科からのお知らせ「免疫力を高める体づくり」
- 5 医療法人悠紀会からのお知らせ



基本理念 皆さまの健康で豊かな生活を支えるために、信頼される真心のサービスを提供します。

- 基本方針**
- 1、社会的役割・・・信頼される医療サービスを提供し、地域住民の健康で豊かな生活に貢献します。
 - 2、利用者さまの尊厳と権利の尊重・・・利用される方々の尊厳と権利を尊重した医療サービスを提供します。
 - 3、快適な環境・・・希望をもって豊かな生活を送ることができる環境づくりをめざします。
 - 4、チーム医療・・・全人的・総合的最善の医療サービスを提供する為に「チーム医療」を実践します。
 - 5、豊かな専門性・・・スタッフの人格形成はもとより、高度な専門知識の習得や技術の向上に努めます。

巻頭言

「コロナ禍と様々な秋」

悠紀会病院 院長 古森 顕一



気付けば秋も深まる時期となりました。

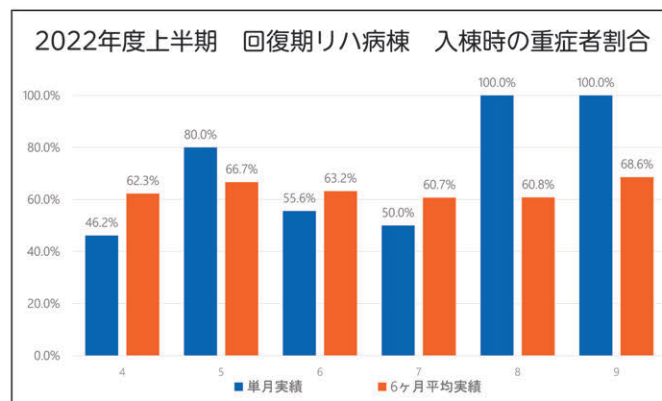
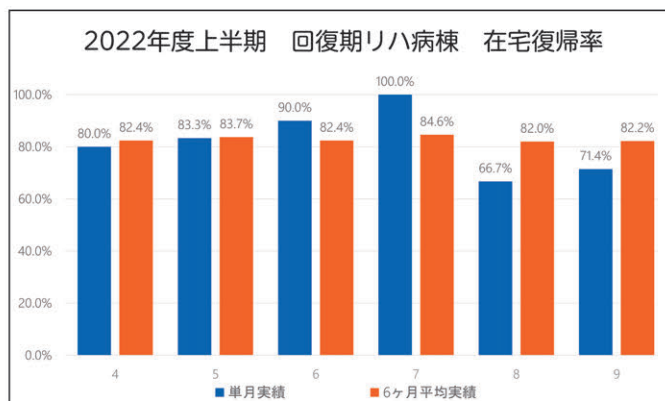
新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威を振るったことは記憶に新しいところですが、この巻頭言の執筆中には新規感染者数が一旦減少傾向となり、国からの費用補助で旅行の予約が急増しているニュースがありました。これまで我慢を強いられてきた中で、今のタイミングを逃すまいとする気持ちは誰もが同じと思います。また、世界的に不安定な社会情勢や円安の影響による物価高騰など気になる点がある一方、渡航時の検査緩和もあり、海外からの訪日者が日々増加しています。国内旅行の動きも活発になっていきますので、これも同じように長く苦しんでこられた観光業の方々にとっては期待が高まることと思います。

その様な中、私は医療職という立場から、このような人の動きが活発になることによる新型コロナウイルス感染症の再拡大と同じくらいの関心事としては、「インフルエンザ」の同時流行も危惧しています。ここ数年は新型コロナウイルス対策が奏功してインフルエンザは影を潜めた感じがありましたが、今年は外国で既に流行している地域もあり、これからの人の動きに乗じて早い段階に日本でも流行することが懸念されます。ただ、冒頭にありますように、秋は旅行やスポーツなどの活動には最適な季節です。個人でできる対策として、事前のワクチン接種やマスク着用、こまめな手指消毒等を継続された上で「様々な秋」を満喫していただくことを願うばかりです。

さて最後に、この病院広報誌「つながり」は、年度4回の季節ごとに発行しています。毎号ご覧いただいている皆様には改めて感謝申し上げます。そして今年度からは、当院周辺の地域の皆様にもご覧いただけることとなりました。その機会をつくっていただいた地区の関係者の皆様にも深く感謝申し上げます。毎号とも内容をどうするか悩みながらの作成ではありますが、今後も医療機関や介護施設・事業所等の関係者向けの内容から、地域の皆様にもわかりやすい情報をお届けしていく所存です。

よろしければ広報誌のことだけでなく、地域に根差す医療機関として様々なご意見をお伺いしたいと思いますので、遠慮なくご一報いただけますと幸いです。

診療実績のご報告



悠紀会病院

「感染対策チーム」の活動を紹介します！



当院には、医療安全管理室内に「感染対策チーム(ICT※)」が組織されています。昨今の新型コロナウイルス感染症や様々な感染症に対する予防と発生時の対応など、悠紀会病院に係る患者様・家族・職員・関係者の安全と安心を守る活動から、関係機関との連携により、地域全体の医療サービス提供を支える活動も行っています。

普段は自らの業務を行いながら、必要時には迅速に対応するチームの活動場面をご紹介します。

※ICT(インフェクションコントロールチーム:Infection Control Team)

感染対策チームメンバー 古森顕一(病院長)、高木昭宏(医師)、小林龍二(薬剤科)、水上清美(看護部)、渡辺由佳里(臨床検査科)、久保茂樹(事務部)

活動の一場面

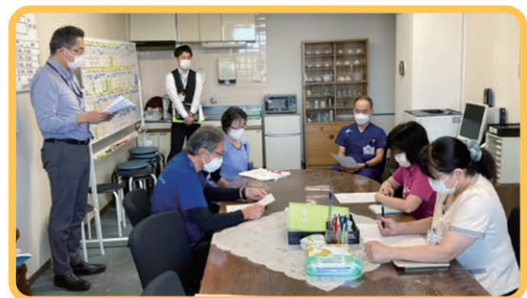
1 院内での主な活動

- ①患者様や職員等からの感染発生情報を一元的に把握し、状況に応じて速やかに協議し対策を講じます。
- ②リスクレベル等に応じた予防や対策の具体的な流れをまとめ、病院全体に周知していきます。
- ③病院の感染防止対策委員会と共に最新の情報を共有し、より広い視野で病院全体の対策について協議します。



2 法人本部との協働

法人の新型コロナウイルス対策本部と共に法人全体の方針や対策について共有していきます。



3 地域との連携

有明保健所・くまもと県北病院・和水町立病院の担当者と共に感染対策や環境等について相互に視察や協議を行い、連携して地域全体の感染対策にも取り組んでいます。



毎日の健康のために 免疫力を高める体づくり



免疫力とは、細菌やウイルス等の病原体から体を守る防御能力の事です。気温が変化する秋冬にかけて感染症流行シーズンになります。免疫力を高める生活を意識しましょう。

免疫カアップ6ヶ条

- 1 適度な運動
- 2 休養をとる



- 3 バランス良く食べる
- 4 体を冷やさない



- 5 ストレスをためない
- 6 笑顔で過ごす



《 免疫力を上げる食材 》

★ 免疫細胞を作る ★

たんぱく質の多い食材
(魚・肉・卵・大豆製品)



★ 免疫機能を高める ★

主に野菜類で色の濃い野菜
(ビタミンA・C・Eが豊富)



★ 体を温める ★

ショウガ・ニンニク・
とうがらし・コショウなど



★ 腸内環境を整える ★

腸には免疫細胞の約70%が集まっているといわれており、腸内環境を整えることはさまざまな病気への抵抗力をアップさせる事になると考えられます。

- 善玉菌を増やす…発酵食品
(ヨーグルト・納豆・みそなど)



- 善玉菌を活発にさせる…食物繊維
(海藻類・豆類・野菜・果物・きのこ類)



鮭のチャウダー

材料 4人分

生鮭	2切れ
酒	少々
しめじ	1p (100g)
玉葱	1/2個 (120g)
ブロッコリー	1/3株 (80g)
サラダ油	大さじ1
バター	12g
小麦粉	大さじ1.5
水	240cc
A [コンソメ	小さじ2強
無調整豆乳	200cc
塩・コショウ	少々

[作り方]

- ① 鮭は、一口大に切り酒をふっておく。
- ② しめじは小房に分け、玉ねぎは1cm角に切る。ブロッコリーは小房に分け茹でる。
- ③ フライパンにサラダ油を熱し、①を入れこんがり焼き色がつかうまで炒める。
- ④ 鍋にバターを溶かし②を入れて炒め、柔らかくなったら小麦粉を加えて、粉っぽさがなくなるまで炒める。
- ⑤ ④にAを入れて、中火で5分ほど煮て、③の鮭と豆乳を加える。煮立ったら、弱火にして塩・コショウで味を整える。



《1食分》

- ・エネルギー… 177kcal
- ・タンパク… 15.2g
- ・脂質… 8.9g
- ・塩分… 1.0g

・医療法人悠紀会からのお知らせ・

献血のご案内

毎年恒例の献血が令和4年12月22日(木)に実施予定です。
悠紀会病院の正面玄関に日赤の献血バスが来ますので、お近くの方やお時間のある方はご協力をお願いします。
実施時間帯は、午後1時30分から3時30分までとなります(予約は不要ですが、多い時はお待ちいただく可能性があります)。冬は献血者が減りやすいため、多くの皆さんのお越しをお待ちしております。



医療法人悠紀会のサービスご紹介

医療法人悠紀会では、地域の医療や介護ニーズにお応えするため各種サービスを運営しています。
改めて法人サービスをご紹介し、今後も地域の皆様や関係機関の皆様にご活用いただければと思います。
初回は、悠紀会病院と併設している「介護老人保健施設ゆうきの里」をご紹介します。

介護老人保健施設



ゆうきの里



役割と機能

- 包括的ケアサービス施設
- リハビリテーション施設
- 在宅復帰のための支援
- 在宅生活と家族の支援
- 地域社会との交流と連携

サービスの種類

- 介護保険施設サービス (定員73名・短期入所含む)
- 短期入所療養介護
- 通所リハビリテーション (定員:50名)

支援相談員 吉岡 雅也 支援相談員 尾曲 晃治 支援相談員 狩野 光進

施設長(医師) 甲斐 親昌

医療法人 悠紀会 悠紀会病院 介護医療院 ゆうきの里

私たちに
ご相談下さい!
☎0968-74-0666

外来診療担当医表

診療時間【午前9:00～午前12:00(受付午前11:30まで)、午後1:30～午後5:00(受付午後4:30まで)】

診療科	月	火	水	木	金
内科	紫藤 忠博	高木 和男	松村 利昭	高木 昭宏 紫藤 忠博	
循環器内科			古森 顕一		古森 顕一
リハビリテーション科		伊勢 紘平 (整形外科)			山崎 裕子
脳神経内科		井手 正美	井手 正美		

診療科

- 内科
- リハビリテーション科
- 循環器内科
- 脳神経内科
- 呼吸器科
- 消化器科
- 歯科(予約制)

相談、その他

- 外来・訪問リハビリテーション相談
- 摂食嚥下相談
- 整形外科相談

病棟構成

入院病床数 139床

回復期リハビリテーション病棟	32床
医療療養病棟(3階)	50床
医療療養病棟(4階)	57床

診療設備

- マルチスライスCT撮影装置
- X線テレビ装置
- 一般用X線装置
- PACS(医用画像管理システム)
- 超音波診断装置
- 心電図モニター
- 生化学自動分析装置
- 感染症遺伝子解析装置

関連事業所

- ◆訪問リハビリテーション 悠紀会病院
- ◆介護医療院 ゆうきの里
- ◆介護老人保健施設 ゆうきの里
ゆうきの里 通所リハビリテーション
介護相談センター ゆうきの里(居宅介護支援)
- ◆グループホーム ゆうきの家
- ◆小規模多機能ホーム ライフサポートいわさき
- ◆小規模多機能ホーム しいの木の里(山鹿市)
- ◆社会福祉法人ゆうき会
特別養護老人ホーム ケアタウン光の森(菊陽町)

アクセス

悠紀会病院



〒865-0011

熊本県玉名市上小田1063番地

TEL 0968-74-1131 FAX 0968-74-3821

ホームページ <http://www.yukikai.or.jp>



各種相談については、地域連携室へお尋ねください。

TEL 0968-74-1131

※お電話による問い合わせは、月曜日～金曜日の午前9時～午後5時までとなっております。